

耐圧防爆指示計 TD-3500
通信コマンド・リファレンス
(V2.60 以降対応)

V2.61-COM 2006-066-1

この取扱説明書は、プログラムバージョン 2.60 以降について
記載してあります。

はじめに

この取扱説明書は、耐圧防爆指示計 TD-3500 の通信コマンドについて記載してあります。

この取扱説明書は、プログラムバージョン 2.60 以降について記載してあります。これ以前のバージョンの製品については、それぞれの取扱説明書を参照して下さい。なお、バージョンの確認方法は、TD-3500 取扱説明書の「ファンクションの設定」を参照して下さい。

また、通信 I/F については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

なお、次のページに、コマンド使用時の注意事項を記載してありますので、必ずお読み下さい。

お願い

- ❖ 本書の内容の一部または全部を、弊社に無断で転載することを禁止します。
- ❖ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ❖ 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入された販売店または弊社まで、ご連絡ください。
- ❖ 本書の運用を理由とする損失、逸失利益等につきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

コマンド使用時の注意事項

1. 通信は、コマンドとリターンがセットで行われます。必ずリターン・データを読み込んでください。
2. コマンド文字列及びリターン文字列中の[sp]は、スペース (20h) です。
3. コマンド文字列及びリターン文字列中の[Tm]はターミネータです。ターミネータは、指示計の設定により選択して下さい。
4. 未定義コマンドの場合のリターン・データは以下のようになります。

リターン:

C	E	r	[Tm]
---	---	---	------

5. リターン・データの数値はゼロサプレスされています。
6. 各定数設定時、小数点は無視して処理します。

例: 300 kg / 0.1 kg の場合

[定量] 設定時

コマンド	リターン
D1W, 1200 [Tm]	D1W, <u> </u> <u> </u> 120.0 [Tm] すべて、120.0 と設定される。
D1W, 120.0 [Tm]	
D1W, 12.00 [Tm]	
D1W, 00001200 [Tm]	
D1W, <u> </u> <u> </u> <u> </u> 1200 [Tm]	

(はスペース)

{比較禁止時間} 設定時

コマンド	リターン
DAW, 5.0 [Tm]	DAW, 0.50 [Tm] すべて、0.50 と設定される。
DAW, 50 [Tm]	
DAW, 0.50 [Tm]	
DAW, 0050 [Tm]	
DAW, <u> </u> 050 [Tm]	

(はスペース)

7. 計量制御定数 (時間関係) コマンドにより設定した数値は、電源を切ると無効になります。必ず「定数の記憶」を行って下さい。

コマンド一覧表

コマンドの機能	コマンド	掲載 ページ	備考
(1) 接続確認	K	5	
(2) ゼロセット	Z S	5	
(3) 風袋引き 指示	T S	5	
(4) " 解除	T R	5	
(5) 定数の記憶	P W	5	V2.50 で変更
(6) 重量値 読み出し	W S	6	V2.60 で変更
(7) 総重量値 読み出し	W G	6	
(8) 正味重量値 読み出し	W N	6	
(9) 風袋重量値 読み出し	W T	6	
(10) デジタル風袋引き量 確認	T D R	7	V2.50 から追加
(11) " 設定	T D W	7	V2.50 から追加
(12) CODE番号 確認	C D R	7	V2.50 から追加
(13) " 設定	C D W	7	V2.50 から追加
(14) [定量] 確認	D 1 R	8	V2.50 から追加
(15) " 設定	D 1 W	8	V2.50 から追加
(16) [落差] 確認	D 2 R	8	V2.50 から追加
(17) " 設定	D 2 W	8	V2.50 から追加
(18) [定量前1] 確認	D 3 R	9	V2.50 から追加
(19) " 設定	D 3 W	9	V2.50 から追加
(20) [定量前2] 確認	D 4 R	9	V2.50 から追加
(21) " 設定	D 4 W	9	V2.50 から追加
(22) [過量] 確認	D 5 R	10	V2.50 から追加
(23) " 設定	D 5 W	10	V2.50 から追加
(24) [不足] 確認	D 6 R	10	V2.50 から追加
(25) " 設定	D 6 W	10	V2.50 から追加
(26) [上限] 確認	D 7 R	11	V2.50 から追加
(27) " 設定	D 7 W	11	V2.50 から追加
(28) [下限] 確認	D 8 R	11	V2.50 から追加
(29) " 設定	D 8 W	11	V2.50 から追加
(30) [ゼロ付近] 確認	D 9 R	12	V2.50 から追加
(31) " 設定	D 9 W	12	V2.50 から追加
(32) [比較禁止時間] 確認	D A R	13	V2.60 から追加
(33) " 設定	D A W	13	V2.60 から追加
(34) [判定禁止時間] 確認	D B R	13	V2.60 から追加
(35) " 設定	D B W	13	V2.60 から追加

コマンドの機能	コマンド	掲載 ページ	備考
(36) {完了出力時間} 確認	D C R	14	V2.60 から追加
(37) " 設定	D C W	14	V2.60 から追加
(38) {シーケンス時間} 確認	D D R	14	V2.60 から追加
(39) " 設定	D D W	14	V2.60 から追加
(40) {補正投入時間} 確認	D E R	15	V2.60 から追加
(41) " 設定	D E W	15	V2.60 から追加
(42) {補正投入判定禁止時間} 確認	D F R	15	V2.60 から追加
(43) " 設定	D F W	15	V2.60 から追加
(44) {排出遅延時間} 確認	D G R	16	V2.60 から追加
(45) " 設定	D G W	16	V2.60 から追加
(46) {上下限判定禁止時間} 確認	D H R	17	V2.60 から追加
(47) " 設定	D H W	17	V2.60 から追加
(48) [上下限判定禁止幅] 確認	D I R	17	V2.60 から追加
(49) " 設定	D I W	17	V2.60 から追加
(50) 計量制御定数 (重量値関係) 確認	C 1 R	18	
(51) " 設定	C 1 W	18	
(52) 計量制御定数 (時間関係) 確認	C 2 R	19	
(53) " 設定	C 2 W	19	
(54) I Dセット	I	20	V2.50 で変更

(1) 接続確認

通信が正常に行えるかを確認します。

コマンド:

K	[Tm]
---	------

リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

(2) ゼロセット

[ゼロ]キー操作と同じ動作を行います。

コマンド:

Z	S	[Tm]
---	---	------

リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

 正常。又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 不安定時はエラー。

(3) 風袋引き指示

[風袋]キー操作と同じ動作を行います。

コマンド:

T	S	[Tm]
---	---	------

リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

 正常。又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 不安定時はエラー。

(4) 風袋引き解除指示

[風袋]キー操作による風袋引きを解除します。

コマンド:

T	R	[Tm]
---	---	------

リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

(5) 定数の記憶

通信で設定した定数を NOVRAM に記憶します。【V2.50】

コマンド:

P	W	[Tm]
---	---	------

 注意: V2.50 より、コマンドが変更になりました。リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

(6) 表示重量値 読み出し

重量値を読み出します。

コマンド:

W	S	[Tm]
---	---	------

 注意: V2.60 より、コマンドが変更になりました。

リターン: 重量値フォーマットによる

(7) 総重量値 読み出し

総重量値を読み出します。

コマンド:

W	G	[Tm]
---	---	------

リターン:

W	G	R	,	<We>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<We> : 総重量値 < 8 char> 数値は、極性及び小数点を含む。

注意 1. 重量異常時には、重量データはすべて ' - ' (マイナス) になります。

(8) 正味重量値 読み出し

正味重量値を読み出します。

コマンド:

W	N	[Tm]
---	---	------

リターン:

W	N	R	,	<We>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<We> : 正味重量値 < 8 char> 数値は、極性及び小数点を含む。

注意 1. 重量異常時には、重量データはすべて ' - ' (マイナス) になります。

(9) 風袋重量値 読み出し

風袋重量値を読み出します。

コマンド:

W	T	[Tm]
---	---	------

リターン:

W	T	R	,	<We>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<We> : 風袋重量値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(10) デジタル風袋引き量 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

T	D	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

T	D	R	,	<We>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<We> : 風袋重量値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

N	U	s	[Tm]
---	---	---	------

 デジタル風袋引き機能が無効です。

(11) デジタル風袋引き量 設定

重量値を設定します。【V2.50】

コマンド:

T	D	W	,	<We>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<We> : 風袋重量値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

T	D	W	,	<We>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<We> : 風袋重量値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等

(12) CODE番号 確認

設定されている CODE 番号を読み出します。【V2.50】

コマンド:

C	D	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

C	D	R	,	<Code>	[Tm]
---	---	---	---	--------	------

<Code> : CODE 番号 < 6 char>

又は、

N	U	s	[Tm]
---	---	---	------

 CODE 番号が使用されていません。

(13) CODE番号 設定

CODE 番号を設定します。【V2.50】

リターン:

C	D	W	,	<Code>	[Tm]
---	---	---	---	--------	------

<Code> : CODE 番号 < 6 char 以下> 数字のみ。

リターン:

C	D	W	,	<Code>	[Tm]
---	---	---	---	--------	------

 正常

<Code> : CODE 番号 < 6 char>

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等又は、

N	U	s	[Tm]
---	---	---	------

 CODE 番号が使用されていません。

(14) [定量] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	1	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	1	R	,	<Te>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Te> : [定量] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(15) [定量] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	1	W	,	<Te>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Te> : [定量] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	1	W	,	<Te>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Te> : [定量] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(16) [落差] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	2	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	2	R	,	<Ra>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ra> : [落差] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(17) [落差] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	2	W	,	<Ra>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ra> : [落差] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	2	W	,	<Ra>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Ra> : [落差] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(18) [定量前1] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	3	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	3	R	,	<M1>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<M1> : [定量前1]設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(19) [定量前1] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	3	W	,	<M1>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<M1> : [定量前1]設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:


D	3	W	,	<M1>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<M1> : [定量前1]設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等 ・数値は、ファンクション [3.70] により設定されます。

(20) [定量前2] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	4	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	4	R	,	<M2>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<M2> : [定量前2]設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(21) [定量前2] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	4	W	,	<M2>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<M2> : [定量前2]設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:


D	4	W	,	<M2>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<M2> : [定量前2]設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等 ・数値は、ファンクション [3.70] により設定されます。

(22) [過量] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	5	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	5	R	,	<Ka>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ka> : [過量] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(23) [過量] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	5	W	,	<Ka>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ka> : [過量] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:


D	5	W	,	<Ka>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<Ka> : [過量] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等 ・数値は、ファンクション [3.70] により設定されます。

(24) [不足] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	6	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	6	R	,	<Fu>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Fu> : [不足] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(25) [不足] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	6	W	,	<Fu>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Fu> : [不足] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:


D	6	W	,	<Fu>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<Fu> : [不足] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等 ・数値は、ファンクション [3.70] により設定されます。

(26) [上限] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	7	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	7	R	,	<UI>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<UI> : [上限] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(27) [上限] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	7	W	,	<UI>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<UI> : [上限] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	7	W	,	<UI>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<UI> : [上限] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等

(28) [下限] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	8	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	8	R	,		[Tm]
---	---	---	---	------	------

 : [下限] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(29) [下限] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	8	W	,		[Tm]
---	---	---	---	------	------

 : [下限] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	8	W	,		[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

 : [下限] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等

(30) [ゼロ付近] 確認

設定値を読み出します。【V2.50】

コマンド:

D	9	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	9	R	,	<Zf>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Zf> : [ゼロ付近] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(31) [ゼロ付近] 設定

数値を設定します。【V2.50】

コマンド:

D	9	W	,	<Zf>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Zf> : [ゼロ付近] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	9	W	,	<Zf>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<Zf> : [ゼロ付近] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等

(32) {比較禁止時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	A	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	A	R	,	<Ki>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ki> : {比較禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(33) {比較禁止時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	A	W	,	<Ki>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ki> : {比較禁止時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	A	W	,	<Ki>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Ki> : {比較禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(34) {判定禁止時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	B	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	B	R	,	<Ha>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ha> : {判定禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(35) {判定禁止時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	B	W	,	<Ha>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ha> : {判定禁止時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	B	W	,	<Ha>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Ha> : {判定禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(36) {完了出力時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	C	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	C	R	,	<Kn>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Kn> : {完了出力時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(37) {完了出力時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	C	W	,	<Kn>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Kn> : {完了出力時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	C	W	,	<Kn>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Kn> : {完了出力時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(38) {シーケンス時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	D	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	D	R	,	<Sq>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Sq> : {シーケンス時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(39) {シーケンス時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	D	W	,	<Sq>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Sq> : {シーケンス時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される

リターン:

D	D	W	,	<Sq>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Sq> : {シーケンス時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(40) {補正投入時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	E	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	E	R	,	<Ht>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ht> : {補正投入時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(41) {補正投入時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	E	W	,	<Ht>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Ht> : {補正投入時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	E	W	,	<Ht>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Ht> : {補正投入時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(42) {補正投入判定禁止時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	F	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	F	R	,	<Hk>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Hk> : {補正投入判定禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(43) {補正投入判定禁止時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	F	W	,	<Hk>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Hk> : {補正投入判定禁止時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	F	W	,	<Hk>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Hk> : {補正投入判定禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(44) {排出遅延時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	G	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	G	R	,	<Hd>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Hd> : {排出遅延時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(45) {排出遅延時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	G	W	,	<Hd>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Hd> : {排出遅延時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	G	W	,	<Hd>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

..... 正常

<Hd> : {排出遅延時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

..... 範囲外等

(46) {上下限判定禁止時間} 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	H	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	H	R	,	<Lt>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Lt> : {上下限判定禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

(47) {上下限判定禁止時間} 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	H	W	,	<Lt>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Lt> : {上下限判定禁止時間} 設定値 < 4 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	H	W	,	<Lt>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<Lt> : {上下限判定禁止時間} 設定値 < 4 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等

(48) [上下限判定禁止幅] 確認

設定値を読み出します。【V2.60】

コマンド:

D	I	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

D	I	R	,	<Lw>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Lw> : [上下限判定禁止幅] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

(49) [上下限判定禁止幅] 設定

数値を設定します。【V2.60】

コマンド:

D	I	W	,	<Lw>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

<Lw> : [上下限判定禁止幅] 設定値 < 8 char 以下> 小数点は無視される。

リターン:

D	I	W	,	<Lw>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 正常

<Lw> : [上下限判定禁止幅] 設定値 < 8 char> 数値は、小数点を含む。

又は、

E	r	r	[Tm]
---	---	---	------

 範囲外等

(50) 計量制御定数(重量値関係) 確認

定量、落差等、制御のための定数を読み出します。

コマンド:

C	1	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

C	1	R	,	<Te>	,	<Ra>	,	<M1>	,	<M2>	,	
---	---	---	---	------	---	------	---	------	---	------	---	--

	<Ka>	,	<Fu>	,	<UI>	,		,	<Zf>	,	[Tm]
--	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

<Te> : [定量]設定値 < 6 char>

<Ra> : [落差]設定値 < 6 char>

<M1> : [定量前1]設定値 < 6 char>

<M2> : [定量前2]設定値 < 6 char>

<Ka> : [過量]設定値 < 6 char>

<Fu> : [不足]設定値 < 6 char>

<UI> : [上限]設定値 < 6 char>

 : [下限]設定値 < 6 char>

<Zf> : [ゼロ付近]設定値 < 6 char>

各数値は、小数点を無視。

(51) 計量制御定数(重量値関係) 設定

定量、落差等、制御のための定数を設定します。

コマンド:

C	1	W	,	<Te>	,	<Ra>	,	<M1>	,	<M2>	,	
---	---	---	---	------	---	------	---	------	---	------	---	--

	<Ka>	,	<Fu>	,	<UI>	,		,	<Zf>	,	[Tm]
--	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------

<Te> : [定量]設定値

<Ra> : [落差]設定値

<M1> : [定量前1]設定値

<M2> : [定量前2]設定値

<Ka> : [過量]設定値

<Fu> : [不足]設定値

<UI> : [上限]設定値

 : [下限]設定値

<Zf> : [ゼロ付近]設定値

各数値は、小数点を無視。

リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

 正常又は、

E	R	S	,	<Er>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 設定エラー

<Er> : 異常のあった項目の数値が'1'になります。 < 9 char>

注意

1. ファンクション[3.70]を【0】に設定しないと正しく機能しません。

(52) 計量制御定数(時間関係) 確認

制御のための時間関係の定数を読み出します。

コマンド:

C	2	R	[Tm]
---	---	---	------

リターン:

C	2	R	,	<Ki>	,	<Ha>	,	<Kn>	,	<Sq>	,	
---	---	---	---	------	---	------	---	------	---	------	---	--

	<Ht>	,	<Hk>	,	<Hd>	,	[Tm]
--	------	---	------	---	------	---	------

<Ki>	: {比較禁止時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>
<Ha>	: {判定禁止時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>
<Kn>	: {完了出力時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>
<Sq>	: {シーケンス時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>
<Ht>	: {補正投入時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>
<Hk>	: {補正投入比較禁止時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>
<Hd>	: {排出遅延時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)	< 3 char>

各数値は、小数点を無視。

(53) 計量制御定数(時間関係) 設定

制御のための時間関係の定数を設定します。

コマンド:

C	2	W	,	<Ki>	,	<Ha>	,	<Kn>	,	<Sq>	,	
---	---	---	---	------	---	------	---	------	---	------	---	--

	<Ht>	,	<Hk>	,	<Hd>	,	[Tm]
--	------	---	------	---	------	---	------

<Ki>	: {比較禁止時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)
<Ha>	: {判定禁止時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)
<Kn>	: {完了出力時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)
<Sq>	: {シーケンス時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)
<Ht>	: {補正投入時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)
<Hk>	: {補正投入比較禁止時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)
<Hd>	: {排出遅延時間}	(0~999、設定単位:0.01 秒)

各数値は、小数点を無視。

リターン:

O	K	[Tm]
---	---	------

 正常又は、

E	R	S	,	<Er>	[Tm]
---	---	---	---	------	------

 設定エラー

<Er> : 異常のあった項目の位置の数値が'1'になります。 < 7 char>

注意

1. このコマンドで設定した時間関係定数は、電源を切ると無効になります。定数を記憶させるには、<PW>コマンドを実行してください。

(54) IDセット

各コマンドの送信前に、送信する指示計の ID コードをセットします。【V2.50】

コマンド:

I	<ID>	[Tm]
---	------	------

<ID> : ID コード (0~20)

リターン:

I	D	,	<ID>	[Tm]
---	---	---	------	------

 ID が一致した場合。

<ID> : ID コード (0~20)

注 意

1. ID の使用は、伝送路が RS-422/485 の場合有効です。
2. 使用前に、ファンクションで ID の使用及び ID コードが設定されていなければなりません。
3. 該当する ID の指示計がない場合、リターンが戻りません。